

コンプライアンス

KOBELCOグループでは、コンプライアンスの本質を「世の中の人たちの期待に応えること」と捉えています。法令や社会規範の遵守に関して世の中の要請に応えることは、KOBELCOグループが信頼を維持し、社会課題の解決に挑みつづけるための前提条件であるとの認識のもと、コンプライアンスを経営の最重要課題と位置づけ、以下の通り、体制の構築と各種の取り組みを進めています。

コンプライアンスの規範・基準

2000年6月に、法令等を遵守するための具体的な企業行動指針として「企業倫理綱領」を制定しました。本綱領は、良き「企業市民」として法令その他の社会規範を遵守し、環境に配慮しながら、優れた製品・サービスの提供を通じて社会に貢献するため、会社および役員、社員が守るべき規範・基準であり、その後の事業環境の変化に応じて、改定を行っています。現在は、2020年5月に「KOBELCOが実現したい未来」「KOBELCOの使命・存在意義」を加えて体系化された新グ

ループ企業理念のもと、当社グループが持続的に発展するために、社会に対する約束事でありグループで共有する価値観として定めた「KOBELCOの3つの約束」と、この約束を果たすために「企業倫理綱領」中の「企業倫理規範」を踏まえてグループ全社員が実践する具体的な行動規範として定めた「KOBELCOの6つの誓い」をコンプライアンスの規範・基準としています。

コンプライアンス委員会

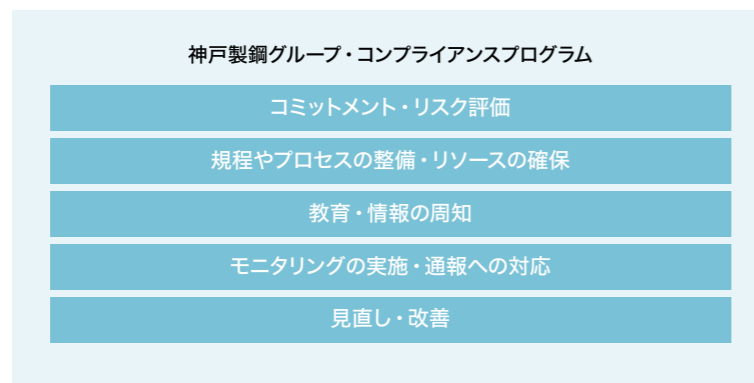
当社グループにおいては、当社の取締役会の諮問機関としてコンプライアンス委員会を設置しています。社長を含む社内委員3名に対し、公正中立な立場の社外委員が5名と過半数

を占め、社外委員が委員長を務める同委員会では、グループ全体のコンプライアンス活動計画の立案および進捗状況を確認し、必要な見直しと改善を行っています。

コンプライアンスプログラム

コンプライアンス活動計画の実行にあたっては、全社コンプライアンス総括取締役、全社コンプライアンス担当役員の指揮のもと、専任部署として当社のコンプライアンス統括部が、事業部門やグループ各社と連携し、「神戸製鋼グループ・コンプライアンスプログラム」をベースに取り組みを進めています。

各社のコンプライアンス活動の進捗状況を、以下の5項目に沿って把握した上で事業や地域の特性を踏まえて実行することで、グループにおけるコンプライアンス活動が網羅的かつ実効性のあるものとなるよう取り組みを強化しています。



コンプライアンス活動の具体的状況

コミットメント・リスク評価	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者がコンプライアンスに積極的に取り組む姿勢を、社内外にメッセージとして発信しています。また、贈収賄防止に関しては、「神戸製鋼グループ 贈収賄防止ポリシー」を策定しホームページに掲載しています。 ・社内外の動向を踏まえ、事業や組織の活動内容に伴うコンプライアンスリスクを定期的に分析・評価しています。競争法、贈収賄防止、安全保障貿易管理をグループのトップリスクに位置づけ、遵守体制の整備を進めています。
規程やプロセスの整備・リソースの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・競争法や贈収賄防止などトップリスクを中心に、必要な規程やプロセスの整備を国内外のグループ会社で進めています。 ・国内外のグループ会社にコンプライアンス担当の配置を要請し、コンプライアンス推進体制の充実を図っていきます。
教育・情報の周知	<ul style="list-style-type: none"> ・階層別や役割別のコンプライアンス教育、競争法や贈収賄防止など個別法令に関する集合研修やe-learningを当社と国内外のグループ会社で継続的に実施していきます。 ・カードの配布やポスターの掲示、イントラネットやグループ報等を通じて、内部通報制度の継続的な周知を行っています。
モニタリングの実施・通報への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・当社と国内外のグループ会社において、競争法、贈収賄防止、安全保障貿易管理に関するモニタリングや監査を継続的に実施しています。 ・国内外のグループ全社員が内部通報制度を利用できるよう体制整備を進めており、コンプライアンス問題を早期に発見し解決する仕組みを構築していきます。 <p>[2019年度通報受付件数：119件(国内外のグループ会社を含む)]</p> <p>「監査等委員会通報制度」の新設</p> <p>当社では、コンプライアンス経営のよりいっそうの徹底を図るため、経営幹部から独立性を有する制度として、2020年7月に、新たに監査等委員会を通報先とする内部通報制度を設置しました。</p>
見直し・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・当社および国内グループ会社の社員を対象に、コンプライアンス意識調査を実施しています。 ・社内外の動向やコンプライアンス意識調査の結果を踏まえ、コンプライアンスプログラムをベースにした活動内容の見直しを実施しています。

当社グループのコンプライアンス活動など詳細については、当社Webサイトをご覧ください。
https://www.kobelco.co.jp/about_kobelco/kobesteel/ethics-compliance/index.html



2019年10月に開始した「コンプライアンス・トップセミナー」
 「国内外での贈収賄リスク」をテーマに、当社グループの経営幹部総勢185名を対象に実施